

リハビリテーション概論

講 師	塩 塚 順	実施時期 単 位 数	第 2 学年前期 1 単位 (20 時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科衛生士として、歯科診療科だけでなく訪問歯科診療時に高齢者や各疾患患者理解との身体補助方法を学ぶことにより、安全に歯科医師の補助並びに歯科衛生士業務が行えること。また、リハビリテーション科での歯科衛生士業務に就く場合においても同様の業務ができるようになる。				
授 業 概 要	リハビリテーション医学は、保健医学(第1相)、予防医学(第2相)、治療医学(第3相)と並んで第4相の医学と呼ばれる。リハビリテーションの歴史や障害発生から医学的リハビリテーション、社会的リハビリテーションに至るまでの内容を体系立てて理解する。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	筆記試験100%				
教 科 書	竹内孝仁 著 一介護福祉士選書― 新版「リハビリテーション概論」 建帛社				
履修上の注意	高齢者、障害者の在宅生活支援を行う上で、身体機能、障害像を理解することで、口腔嚥下リハビリテーションの必要性(重要性)を学ぶことが大切であることを理解してほしい。				
参 考 書	適宜紹介				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	リハビリテーションの歴史	リハビリテーションの歴史を理解し、定義を説明できる。
2	リハビリテーションの理念 障害論、3つの障害(機能的、能力的、社会的不利)	ICIDH, ICFの定義や概念を説明できる。
3	チーム医療としてのリハビリテーション 職業的リハビリテーション、社会的リハビリテーション	リハビリテーションにおける医学的スタッフ・社会的スタッフの説明ができる。 チームとして歯科衛生士の役割を理解できる。職業的リハビリテーション、社会的リハビリテーション、教育的リハビリテーションを説明できる。
4	リハビリテーションにかかわる疾患1	脳血管障害の病態を理解し、障害像を説明できる。
5	リハビリテーションにかかわる疾患2	整形外科(運動器)疾患を理解し、障害像を説明できる。
6	リハビリテーションにかかわる疾患3	内部障害(心疾患・呼吸器・代謝)を理解し、障害像を説明できる。
7	認知症や高齢者の特性	認知症の理解し対応を説明できる。高齢者のロコモティブシンドローム、フレイルを説明できる。
8	福祉用具と住宅改修	福祉用具各種を理解し、使用方法等を説明できる。住宅改修の理解と方法を説明できる。
9	転倒予防、地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムの概念を理解し説明できる。高齢者の転倒予防事業を説明できる。
10	実技 (歩行の介助方法、車椅子の使用方法、寝たきり患者の介助方法等)	高齢者・障害者の介助方法(寝返り、立ち上がり、移乗方法、歩行介助等を理解し、実践できる。